

豊友会会報

大分市下郡字長谷496-38
大分県教育会館内
大分大学教育福祉科学部同窓会
編集兼 発行人 仲道俊哉
TEL 556-0145
印刷所 朝明文堂印刷
TEL 533-8800

飛躍する大分大学

「大分大学と同窓生との交流会」発足

大分大学副学長
理事(国際・社会連携担当)
佐藤 誠治



挨拶する仲道俊哉豊友会長

相互の交流が
なかつたこれ
までの活動

大分大学の同窓生は新制大学になってからだけでも二八、〇〇〇名を超えて、広く各界・各層において活躍されています。同窓会は発足以来、学部あるいは学科ごとに置かれて相互の交流がない状況にあります。また、本学は旧大分大学と大分医科大学が平成



大分大学と同窓生の大分地区交流会

十五年十月に統合し、平成十六年四月には国立大学法人化により大きな組織的变化を経験し、新しい大分大学として出発したところで、



挨拶する佐藤誠治理事

大分大学と同窓生の絆と同窓会相互の交流を

そこで、本学の現状等について同窓生に報告するとともに本学に対する意見・提言をいただく場を設け、同窓生と本学の絆を深めることにより協力・連携関係を築き、併せて同窓会相互の交流を推進することを目的として「大分大学と同窓生との交流会」を企画しました。



大分地区交流会の交歓会

交流会が行われました。私どもが企画した初期の目的を果したものと喜んでいました。二百名を超える同窓生・教職員及び学生が参加し、熱心なご討議をいただき、建設的なご意見が出され、また盛んな

関東、関西地区でも

なお、今後は、今年の三月に関東地区・六月に関西地区において、各同窓会と共催する形で開催する予定にしています。当該地区に在住の同窓生の皆様には是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

随想

豊友会の充実と母校の発展を願う



監査 永井 清廣
(昭和28年卒)

小泉改革の推進に対し是非非で受けとめているのが、国民の大半であると思う。それらの改革の中で、大学法人化問題と三位一体の改革は、教育との関係で大いに気にかかるところである。

わが大分大学も平成十六年四月の国立大学法人化により、四学部と五研究科及び十一センターを擁する新しい大学として大きく変わり再出発した。そして、大学の基本理念を建て教育・研究・社会貢献・運営に斬新な発想で着実に歩み始めたことは喜ばしい限りである。

次にその動向の中で、わが豊友会の組織強化がのぞまれる。当分の課題として、市町村合併に伴う各支部の整備・同窓会高夫の努力が伺われた。特に「学

題認識の上で、力強く思われたのは、「豊友会会報106号」であった。全面的取材編集に創意工夫の努力が伺われた。特に「学

ある。その実像と意気込みを昨年十二月十日の大分大学と四学部同窓生との「大分地区交流会」で実感でき、母校の更なる飛躍を願うものである。

文部科学大臣表彰 教育者表彰を受けて



大分市立舞鶴小学校
校長 荒巻 健一
(昭和43年卒)

十二月十一日、平成十七年度教育者表彰式に出席しました。当日は東京国際フォーラムにて授賞式、午後は皇居にて天皇陛下下の拝謁を受けることになりました。

この受賞は私自身の力によるものではなく、校長会として仕事をさせて

授与された時に頭をよぎったことは、主催者側として成功させることができた九州地区校長協議会研究大会大分大会のこの運営に奔走した数々の事から、終了時の安堵感がよみがえったのです。皇居での拝謁は一生に一度しか経験できないことなので、心ひき締まる思いで天皇陛下のお言葉に耳を傾けていました。大変貴重な経験をすることができた授賞式、拝謁でしたが、実はこの一年間会長として、全連小関係の県外出張を何回も続ける忙しさの中で、久しぶりに妻と旅行する機会を頂いた三日間でもあったのです。

素晴らしい思い出として残しながら、日々学校経営に没頭しています。

素晴らしい思い出として残しながら、日々学校経営に没頭しています。

市場原理者

私の故郷は雪国新潟だ。雪道ですれちがうルール(行動文化)がある。幼児と高齢者は最優先、他は年少者が年長者に譲る。だが、今、ルールは崩れつつある。数年前、高校生とすれちがう場面を経験。私は五十歳代。相手が譲ると思いきや、譲る気配がない。身にしみ込んだ習慣で、私の方が彼に道を譲る。勿論、すみませんの応答は無い。今、社会のあらゆる場面に市場原理が浸透している。倫理も道徳も不要とばかりに。その代表格とも言える堀江貴文が逮捕された。国民への警鐘と受けとめたい。

市場原理は、教育界にも入り込もうとしている。有名校に何人合格させたか、何点とらせたか等が主要な評価項目になる。不登校生を励ましたり、病弱児に寄り添ったりしてもあまり評価されない。先輩から技術を学びつつ、優れた技術を公表して全体が高まって、業界の失敗を教育界に入れてはならない。やっとならなければならない性質が教育には必要だ。勿論、教育界には古いよくない体質もある。体質改善を短絡的に市場原理導入ですませるのでない英知が問われている。例えば「共生原理」の導入など。

大分大学教育福祉科学部 教授 山岸 治男